

# 「第21回高知県C02木づかい固定量認証専門委員会」議事録

日 時：平成29年3月22日(水) 15:30～17:20

場 所：一般社団法人 高知県山林協会 1F 会議室

出席者：委員長 小林 紀之（元 日本大学大学院法務研究科 客員教授）

委 員 川田 勲（高知大学名誉教授）（委員長代理）

松岡 良昭（一般社団法人 高知県木材協会 専務理事）

佐竹 一夫（こうち生活協同組合 代表理事）

事務局 三好一樹、中川範之、長崎涼太、中野比菜子（以上、環境共生課）

吉川聖真、河合弘子

木材産業振興課 山内潤子

## 1. 開会

（事務局：三好）

第21回高知県C02木づかい固定量認証専門委員会を始めさせていただきます。今回、小林委員長、川田委員、佐竹委員、松岡委員にご出席いただいている。個人住宅3件、公共建築施設8件、一般建築施設2件、合計13件の案件について審査していただく。また、一般建築施設の2件は、CLTを活用した案件である。進行は、委員長代理として川田委員にお願いする。

（川田委員）

進行役を務めさせていただきます。個人住宅3件、公共建築施設8件、一般建築施設2件、合計13件の証書発行案件について審査を行う。事務局から説明をお願いする。

## 2. 協議事項（1）経過報告（報告事項）

（事務局：長崎）

協議項目の（1）「経過報告」～（3）第20回専門委員会における確認事項について説明する。

—————資料参照—————

（川田委員）

川下に行くほど複雑な流通ルートになるので、証明するのは非常に難しい。マニュアルや製造工程の写真を見て判断するのは難しい。A社にはマニュアルはあるのか。

（事務局：中川）

マニュアルはないが、担当レベルで管理方法を整備した資料はある。

（川田委員）

その資料で原木、ラミナの仕入れ先が分かるということか。前回の委員会で資料はあったか。

（事務局：中川）

県外のもの混ざらない様に管理している。状況写真が横についた仕分け方法の資料があった。

（川田委員）

県内企業が県外の材を使用して加工した場合も県産にするのか。

（事務局：中川）

海外の材でなければ、基本的に県外の材でも県内の企業で加工したのであれば県産にする。

(松岡委員)

集成材や CLT は加工企業がマニュアルに沿ったものにするために事務処理などが増え負担になるのではないか。

(川田委員)

製品出荷後に CO2 の認定申請を出した場合、そのためのマニュアルではないものを使えるのか。公共事業の場合、原料の供給について仕分けの方法が分かる資料がないのか。

(小林委員長)

仕分けの方法を明記したものであれば使える。FSC 認証はさらに厳しいので、供給側が仕分けの認識が出来ていると思われる。

(川田委員)

企業側に確実なデータを要求するのか、ある程度のものを要求するのか、難しい要求をした場合に個人の案件だと申請自体をしなくなるのではないか。写真提出があるとより良いのか。

(事務局：中川)

写真があれば望ましいが、要求してどこまで資料提出してもらえるかどうかはわからない。

(川田委員)

製品仕入れルートについて説明をお願いします。

(事務局：長崎)

—————資料参照（案件 4 仕入れルート表）—————

(川田委員)

複雑な仕入れルートになっているのはなぜか。他にこういった案件はあるのか。

(事務局：三好)

発注業者が県産材を使用するように要求しているため複雑になっている。

(事務局：長崎)

他には、案件 12、13 も県外で加工している。

(川田委員)

案件 13 説明をお願いします。

(事務局：長崎)

—————資料参照（案件 13 仕入れルート表）—————

(川田委員)

今回は A 社が B 社からのみ仕入れているが、県外企業からもラミナを仕入れて使用していた場合に県内産の分だけに仕分けされているのか。

(事務局：中川)

仕分けされている。

(事務局：三好)

現状は、出荷証明書で県産材である確認をしている。

(事務局：中川)

県外企業で CLT などを加工する場合に、県産材と県外材が混在しないよう仕分けるルール書が現在ないので、お願いして作ってもらえるならば作ってもらう必要があると思われる。

(川田委員)

関係企業に最低お願いする内容をこちらで作っておくことも必要。

(松岡委員)

出荷証明書に「高知県産材である」と書いてあるだけではいけないのか。

(小林委員長)

分別製造管理をしていると一筆いただければ良い。

(事務局：中川)

出荷証明書に書き加える、もしくは別で一筆いただくといった対応は可能と思われる。

(川田委員)

今出た案を事務局で検討していただきたい。

(松岡委員)

C 社の出荷証明に積層材があるが、加工しているのか。加工できないのではないのか。

(川田委員)

C 社が仕入れているのか。

(事務局：中川)

D 社で加工している。県内企業での賃加工なので資料はつけていない。

(小林委員長)

出荷証明書で県産材である証明と、写真があれば欲しいと要請して頂くようお願いする。

## 2. 協議事項（2）証書発行の審査（13 件）（審査事項）

(川田委員)

証書発行件数から説明をお願いする。

(事務局：長崎)

—————資料参照（証書発行件数～案件 3）—————

(川田委員)

審査案件 1 から 3 について意見、質問はないか。では、次の案件説明をお願いする。

(事務局：長崎)

—————資料参照（案件 4 ～11）—————

(川田委員)

審査案件 4 ～11 について意見、質問はないか。ここに出ているデータは建設に必要な全ての木材の使用量が出ているのか。県産材のみが出ているのか。

(事務局：中川)

審査に必要な資料のみ出している。案件 7 の E 社の資料がない為、県産材であるか確認中。

(松岡委員)

47 ページ難燃加工、61 ページ防腐注入など賃加工を県外企業に出した場合の証明はいらないか。

(小林委員長)

賃加工をするのに県産材以外を出すことはないのではないか。

(事務局：中川)

賃加工分だけ県外の材が混入する可能性は低いと思われる。

(川田委員)

28 年度建築された公共建築物のなかで、C02 固定の申請をしている割合はどのくらいか。そのうち、申請している公共建築物はどういった経緯で申請されたものなのか。

(事務局：中川)

申請割合は把握していないが、少ないと思われる。申請されたものはこちらからお願いした案件である。

(川田委員)

他に意見、質問はないか。では、次の案件説明をお願いします。

(事務局：長崎)

—————資料参照（案件 12、13）—————

なお、案件 12 の E 社の出荷証明書に積層があるが、県産であるか確認する。

(事務局：中川)

案件 7、案件 12 については県産であることを確認することを踏まえて審査頂きたい。

(川田委員)

では、県産でなかった場合は数字を減らすなどの処理をするようお願いする。審査案件 12～13 について意見、質問はないか。

(小林委員長)

125 ページの B 社の出荷証明書で納入先が F 社なのはなぜか。

(事務局：三好)

A 社のグループ企業である。

(川田委員)

他に意見、質問はないか。以上の 13 件認証でよろしいか。なお、案件 7、12 については県産であることの確認を条件に認証としてよろしいか。

(委員全員)

認証する。

(事務局：中川)

今回は 8 月～9 月開催予定している。今回の固定量認証審査資料（ファイル）は、個人情報を含んでいるので事務局にご返却願う。認証案件は順次、証書を発行させていただく。

以上